

遠隔履修プログラムの実際（旭川校）

【令和6年度】

1年次	入学前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事 研修場所は勤務校		入学式(3日) ガイダンス(4日) 学生打合せ(5日) ※on-line 実習事前指導(5日)	連携協議会 (29日)				教育実践交 流会(7日) ※on-line 中間発表 (28日)				事後指導 (13日)		実践論文 発表会 (15日)
		第1QT		第2QT		集中講義	第3QT		第4QT				
オンライン授業													
オンラインゼミ		指導教員と相談して実施日程を決定 概ね1回/週・日中実施可能 行政体験を位置づける。											
実習		教育実践研究実習Ⅰは、教育実践実績により免除 ※教育実践研究実習Ⅱの準備(管理職と相談、教職員と研修計画を構想、実施可能な実践は前倒しで試行)											
		実習事前指導(5日) ※on-line見学									事前指導 (13日) ※on-line見学		
スクーリング 共通1回旭川校			1年次（加配あり） 実習Ⅱ（2年次）の準備 教職大学院の学びと関連付けて、学 校課題の改善に向けた具体的取組を管 理職と構想します。必要に応じて、教 職大学院の教員が学校訪問し支援しま す。				集中講義 5、6日+7日 旭川校 (学生交流) (対面指導)	実習Ⅱ（2年次）の準備 学校課題の改善に向けた具体的 取組を管理職と構想した内容に関 して、勤務校の教職員と相談しな がら、研究計画を検討します。教 職大学院の教員が、学校訪問やオ ンラインゼミなどを通じて支援し ます。					
スクーリング 旭川校4回		入学式(3日) ガイダンス(4日)	連携協議会 (29日)				中間発表 (28日)						実践論文 発表会 (15日)
オンライン セミナー		遠隔履修プログラム学生が1名につき、定期開催は行わない。修学状況を把握しながら、他分野の教員等との交流を構想中											

※問い合わせ先：教職大学院旭川校(北村：E-mail kitamura.yoshiharu@a.hokkyodai.ac.jp)

遠隔履修プログラムの実際（旭川校）

【令和7年度】

2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事		連携協議会				教育実践 交流会	中間発表				実践論文 発表会	学位記 授与式
					← 夏期休業 →				← 冬期休業 →			
オンライン授業	第1QT		第2QT		集中 講義		第3QT		第4QT			
オンラインゼミ	指導教員と相談して実施日程を決定(実践論文指導を含む) 概ね1回/週						実践論文執筆指導					
事前指導 (On-line)	教育実践研究実習Ⅱ(所属校で実施) ※必要に応じて指導教員が所属校(実習校)を訪問										事後指導 (On-line)	
実習	教育実践研究実習Ⅱ [研究や実習の課題] 学校組織の課題の改善に資する自身の実践的指導力向上に関する内容 [指導体制] ・所属校(実習校)の実習体制整備や学校課題改善への支援(オンラインゼミ、オンラインセミナーと連動させた個別指導) ・教職大学院教員が必要に応じて所属校(勤務校)訪問 ・中間発表に直面参加した際の対面指導(2年次) ・その他必要な指導(北海道教育委員会の規則等との整合性を図ったサービスの管理の徹底)											
スクーリング 共通1回〇〇校					学生交流 対面指導 ※集中講義を 活用する							
スクーリング 旭川校4回	← 指定行事以外に修学校で設定 1回/年間					中間発表		実践論文執筆指導	→			実践論文 発表会
オンライン セミナー	遠隔履修プログラム履修の学生(M1、M2)同士がon-lineで修学状況や自身の研究や実習に関して交流(ファシリテーター:担当教員) 概ね1回/月											